

夜空の宝石箱を 開けてみませんか？



50 cm反射望遠鏡を興味深げにのぞく来館者

いながわ
特派員報告

中橋 弥里 渡 悦子

猪名川天文台 アストロピア



プラネタリウム観測室で星のクイズを楽しむ家族連れ

薄暗くなりかけた夜空に、たったひとつキラキラと輝いて見えた星を指差して、「一番星見つけた」と叫んだことや、夏休みに海や山のキャンプで満天の星空に感動しながら流れ星を探したこと。星にまつわるこんな思い出は、きっと多くの人が持っていると思います。

猪名川町は都市部に比べ、とても美しい星空を見ることが出来る上、すばらしい天文台もあります。少しずつ秋へと移り変わる季節の中、時にはゆったりと夜空を仰ぎ見て、宇宙の不思議な世界に身を置いてみませんか。

さまざまな イベント を開催

天文台では、各種の天体現象に合わせて、観望会などのイベントを随時開催しています。

今月は木星が見ごろとなっており、木星観望会が開催されます。

「スイ・キン・チ・カ・モク・ド・テン・カイ」の8個の太陽系の惑星の中で、一番大きい木星は、南の空にさそり座アンタレスと並んで明るく輝いています。

天文台運営管理責任者の田中寿賀治さんは「3連休はぜひ天文台に来て、木星の模様や木星の周りを回っている4つのガリレオ衛星を見てください」と話されました。

木星を観よう

とき 9月15日(土)
~同17日(月)午後6時
30分~同9時30分(雨天
中止・申込不要)



中秋の名月 観望会

とき 9月24日(月)
午後6時30分~同9時30分
(雨天中止・申込不要)



猪名川天文台アストロピア案内

開館日 毎週木・金・土・日曜日および祝日

開館時間 午後1時30分~同9時30分

料金 高校生以上=200円、中学生以下=無料

問合せ 同天文台 (769-0770)



宇宙へのいざない 天文台の施設

天文台1階のデジタル式プラネタリウム観測室では、直径6mの天球に写し出される映像を、じゅうたんの上に寝転んでゆったりと見ることができ、昼間や天気の良い日でも、気軽に楽しく天体学習をすることが出来ます。

また、ツツジやアジサイ、紅葉、そして雪景色など四季折々の大野山の豊かな自然と触れ合いながら、季節ごとに変化してゆく天体に巡り合うことが、一般の方から天文ファンまで誰もが楽しめる場所となっています。

宇宙にもうひとつのイナガワ

宇宙には、私達の肉眼では見えない星が無数に存在しています。その星の中に、我が町、猪名川町の名前をとって「イナガワ」と命名された小惑星が誕生します。

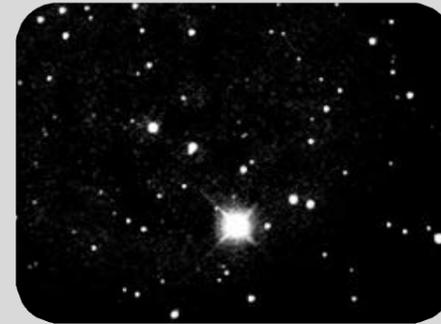
発見者は、猪名川天文台運営委員の山田義弘さんです。小惑星「イナガワ」の命名については現在、国際天文学連合に申請中ですが、認定後インターネットなどで発表されるそうです。

小惑星「イナガワ」命名者 山田義弘さんのお話

小惑星とは、火星と木星の間に分布している小さな天体で、多くが直径数kmから数十kmの小さな星です。現在15万個以上も発見され、それぞれの小惑星に、日本の人名や地名もたくさんつけられ、兵庫県に関わる名前は「ヒョウゴ」「コウベ」「アカシ」「カコガワ」「アワジ」などがあります。



私と観測仲間は、数年間この小惑星を望遠鏡で追跡観測をしてようやく国際天文学連合から命名提案権が与えられました。そして今回、猪名川天文台の開設5周年を記念して、猪名川町の人々に親しまれ続ける星であってほしいと願い「イナガワ」と命名申請しました。私と私の仲間は、数多くの小惑星を発見し命名してきました。私



小惑星「イナガワ」

がこのように星と関わるようになったのは、中学校の天文クラブに入ったのがきっかけで、壮大で謎に満ちた宇宙を知ることによって人生が楽しくなりました。

猪名川町にはすばらしい天文台があるので、皆さんもぜひ訪れてみてください。

ラネタリウムでは、直径6mの天球に写し出される映像を、じゅうたんの上に寝転んでゆったりと見ることができ、昼間や天気の良い日でも、気軽に楽しく天体学習をすることが出来ます。

が出来ます。2階に上がると、肉眼の5000倍もの集光力を持つ、口径50cmの反射望遠鏡が設置されています。土星の輪、火星や木星の模様などの迫力ある姿や、肉眼で見ることが出来る6等星よりもはるかに暗い15等星まで見ることが出来ます。操作はコンピュータ制御で行われており、見たい星の名前や位置を入力すると

選んだ星の方向へ自動的に動いて、見たい星を確実にとらえることができます。

編集後記



取材で猪名川天文台に行き、プラネタリウムを見せていただき星の話聞いたことで、星への興味がわいてきました。ちょうどベルセウス座流星群が見られるということで、家族みんなでバルコニーへ出て、いくつもの流星が流れ落ちる夜空を、時が経つのも忘れて見入っていました。またキャンプに行った時には、満天の星空の下で寝転ぶと、広大な宇宙に吸い込まれていくような心地良さに包まれました。ぜひ皆さんも夜空を見上げてみてください。星を知るほど夜が待ち遠しくなるかもしれませんね。

【いながわ特派員】